

2003年2月20日

**コカ・コーラ、全世界的にグラフィックスを一新**  
**～新しいデザインで、新たな歴史へ～**

**“2003 コカ・コーラ新グラフィックス”**

2003年2月下旬から順次導入

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（社長 北島義俊）は、コカ・コーラの製品パッケージを中心としたグラフィックスを一新し、2003年2月下旬から順次導入します。今回のグラフィックスのリニューアルは、世界的に実施するもので、製品パッケージのグラフィックスとしては、2000年春以来3年ぶりのリニューアルとなります。

今回の新グラフィックス導入の目的は、コカ・コーラブランドが持つビジュアル資産をより現代的に進化・発展させ、コカ・コーラと消費者とのきずなを強め、ブランド価値を一層高めていくことにあります。

また、新グラフィックスで、コカ・コーラブランドのシンボルであり、重要なビジュアル資産である、“ダイナミックリボン”が、より洗練された現代的なデザインで復活します（デザインの特徴については別紙参照）。

この“ダイナミックリボン”の復活を中心とする、機能的価値と情緒的価値が調和した新グラフィックスは、コカ・コーラブランドの統一された視覚的イメージとして、“より現代的な本物感”、“若々しさ”、“高揚感”、“リフレッシュ感”、“明るさ・楽しさ”といったコカ・コーラが持つブランドイメージを、あらゆるコミュニケーション媒体において、より強く印象づけていきます。

新グラフィックス導入を機に、製品パッケージと看板・サインなどの広告物のグラフィックスを一本化し、2003年2月下旬から“2003コカ・コーラ新グラフィックス”に順次統一していきます。

日本市場では、新グラフィックス導入とともに、広告キャンペーンの新展開や、さまざまな販促プログラムなど、積極的なマーケティング活動を実施し、コカ・コーラのさらなる飛躍を目指します。

本件に関するお問い合わせは広報室（新見・松浦、011-888-2091）までお願いいたします。